



riding equipment

GAERNE FUGA

photo and text by Katsuhisa Mikami

ここ数年、大変気に入っている靴がある。それがこのガエルネのFUGAだ。イタリアのガエルネが造っているライディングブーツだが、僕の場合はバイクに乗るとき以外にも頻りに使っている。どちらかと言うと、取材用ブーツと言ってもいい使い方だ。エンデューロコースを歩いたりするときも、たいがいこれを履いている。先日取材に行ったSTDE木古内でも、ずっとこれを履いていた。BAJAでも、イギリスでも、イタリアでも履いていた。

その理由は、歩きやすいし、頑丈だし、快適だからだ。さらに、くるぶしの上まで水に浸からない限りは水がほとんど入ってこないことも大きなメリット。雨の日にFUGAを履いてバイクに乗っていて、靴の中が濡れたことはこれまでない。あまりに快適なので、海外出張に行くときは100%と言っていいくらいこれを履いて行く。出張の目的がオフロードバイクの試乗でない限り、これ一足とサンダルさえあれば間にあってしまうからだ。

この靴に出会うまでは、旅でライディングブーツを履くのはあまり好きではな

かった。ツーリングに限って言えば、好きなのは、ワークブーツだったり、エンジニアブーツだったりした。なんでかって言うと、そうしたブーツは旅先で街を歩くときにも歩きやすいし、普段着にそのまま合わせやすい。

ライディングブーツにも、そうしたブーツに近いデザインのものも過去にあったが、なかなかこれだ、というデザインのものが見つからなかった。きっと、「一見ワークブーツに見えるのに実はそうでない」的な……足の甲にやけに目立つチェンジペダルガードがついてるとか、デザインの合わない通気穴がついてるとか……バイク用として機能を付け加えた結果、デザインに齟齬が生まれてしまうのだろう。そうしたブーツは、バイクから離れているときになんだか妙に見える。

このFUGAには何かを真似ようとした感じがなくていい。FUGAは堂々としたライディングブーツであるのに、なぜか普段でも履ける優しいデザインに見えて、僕は好きなのだ。チェンジペダルガードとか、シューレースをまとめるスナップと

か、バイク用ならではのデザインになっている部分もあるのだが、それらのデザイン自体が優れているからだろう。これらに樹脂素材とか、別の色の部品とかを使っていたら台なしだっただろうと思う。すべて同じ色、素材の革で造っているから、ライディングブーツでありながら、普通の「靴」になっているのではないか。

このグリーンのFUGAは今年発売になったばかりの新品で、シックな色合いがこれまたなんとも言えずいい。僕はこれとは別にナットブラウンのFUGAも持っていて、もう5年くらいかなりハードな使い方をしているが、どこも壊れていない。さすがに外観はかなり傷だらけになっているが、それはそれで味がある感じで悪くない。ガエルネから発売されている防水クリームで時々メンテナンスしているので、耐水性も衰えていない。

くるぶしから上のプロテクトがないため本格的なオフロードライディングにはお薦めできないが、ツーリングに出かけるライダーには、今僕がもっともお薦めしたいブーツである。間違いなし!



靴底はビブラム。滑りやすい場所でもしっかり踏んでくれるし、バイクのステップとの相性もいい。ネガな点があるとすれば、片足860gと重めなことか。僕は気にならないが

ガエルネ・FUGA
価格: 30,765円 (ネット価格)
サイズ: 23.5 ~ 28.0cm
(5mm刻み。それ以上のサイズは受注輸入にて取り寄せ可)
カラー: ブラック、ナットブラウン、グリーン
問◎ジャベックス・ドット・ネット
<http://www.japex.net/>
☎03-3773-7633